

## 総務委員会 県内調査活動状況

1 調査日 令和3年11月8日（月）

2 出席委員（9名）

委員長 渡辺 淳也

副委員長 流石 恭史

委員 望月 勝 向山 憲稔 久保田 松幸 卯月 政人

土橋 亨 佐野 弘仁 永井 学

3 調査先及び調査内容

（1）【消防防災航空隊】

○調査内容（主な質疑）

問) 9月定例会の総務委員会で一般会計予算補正予算の機体整備についての質疑の中で、今回の修繕が機体の保証ではないのは、購入後の保証期限が切れたからということだったが、耐空証明検査を年1回行わなければいけない中で、今回の補正予算額くらいの機体整備の予算は随時かかってくるのか。それとも、今回たまたまなのか伺いたい。

答) 年1回の耐空証明検査については、基本点検分として予算計上している。その他に部品の交換等が生じる恐れがあることから、予備的に予算を計上している。9月補正においては、非常に高額な部品の交換となったことから、予備的な予算を活用しても不足するため補正予算をお願いした。

問) 派遣期間が原則3年とあるが、素人目でみると、隊員の訓練も大変であり、技術もかなり必要であると思うが、原則3年に定めている理由は何か。

答) 航空隊員については、県内の消防本部から交代で派遣している。期間が偏らないように入隊1年目に一通りのことを覚え、2年目は指導者になるため活動を覚える。そして、3年目は指導者となる。このように3年サイクルで回しているおり、3年目の隊員が新しく入った隊員の指導を行っていく、そういうサイクルで3年となっている。

問) 任期を終えた指導者が戻ってくることはあるか。

答) 絶対に戻ってこないということはないが、通常は次の隊員になっている。ただし、

3年の任期を終えた隊員は、1年間は予備隊員となり、何か緊急事態が生じた場合は、応援して頂くということで退任している。

問) 人気があるということか。素人目で恐縮だが、せっかく技術があるのにもったいないなと個人的には思う。

答) 消防本部によるかと思うが、人気があると聞いている。



※説明、質疑の後、格納庫の資機材及び消防防災ヘリ「あかふじ」の視察を行った。

## (2) 【富士吉田警察書】

### ○調査内容（主な質疑）

問) 警察署の建て替えは、計画から竣工まで、だいたいどれくらいの期間がかかるのか。

答) 警察署の建て替えについては、警察の意思の決定権がある部長会メンバーが委員となるが、その前段階として、各参事官レベルの会議、その前に担当者がある程度の案を提出することになる。一概に何年と言えないが、だいたい5年から8年くらいのスパンで検討をしている。次の候補の警察署の選考からその警察署を現地で建て替えるか移転するかを総合的に検討する。建設には、4、5年はかかるという考えでよいかと思う。

問) 富士山の噴火については、もし仮に本当に噴火があった場合、この富士吉田警察署に災害の対策本部ができるのか、県警本部にできて、こちらと連携を取りながらやるになるのか。

答) 災害警備本部は警察本部とこの警察署にも立ち上げる。双方が連携する中で各種情報収集と避難誘導について対応に当たっていく。なお、この警察署については、現在のハザードマップによると、溶岩流の到達が7日以上かかるということになっているので、その猶予期間中に、拠点の移転の必要があるかどうかも含めて検討していくことになる。



※説明、質疑の後、富士吉田警察の視察を行った。